

団体名		公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団						
事業	① 指標名	お客様満足度の向上			目標値	体育施設事業の参加者の平均満足度、武蔵野プレイス・吉祥寺図書館・自然の村のモニタリング総合満足度 いずれも 90%以上	実績値	①体育施設事業 90.4% ②武蔵野プレイス 94.1% ③吉祥寺図書館 85.6% ④自然の村 92.0%
	過去の実績	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成率	75.0%	達成状況	未達成
	(単位: %)	①体育施設事業91.9% ②武蔵野プレイス96.5% ③吉祥寺図書館86.3% ④自然の村97.2%	①体育施設事業90.8% ②武蔵野プレイス95.8% ③吉祥寺図書館83.9% ④自然の村92.3%	①体育施設事業 91.9% ②武蔵野プレイス 95.9% ③吉祥寺図書館 88.6% ④自然の村 97.1%				
	取組内容	緊急事態宣言等の発出に伴う利用制限中も、各館で消毒液の設置、会議室や運動室等の定員設定、仕切り板の設置をするなど、利用者の理解を得ながら運営をした。オンラインツールを利用しての事業と対面での事業の内容による使い分け、ワクチン接種会場（総合体育館）となった影響で会場変更しての事業実施、東京近郊で実施した野外活動事業等、コロナ禍でも可能な限りの事業展開をすることにより、好評を得た。モニタリングアンケートの他にも、講座や教室ごとにもアンケートをとり、事業の見直しの検討材料としている。						
	一次評価	令和3年度は、引き続きコロナ禍における運営となったが、市新型コロナウイルス感染症対策本部が決定する各施設の運営方針に従い、各ステージに応じて、感染防止対策を実施し、施設利用定員を見直すなどの対応をした。各種講座や教室等も、多くの事業が再開され、好評を得た。今後は、以前のような利用者数や事業参加者数になっても、感染防止策をとり、安心して施設を利用していただくように努める。						
二次評価	令和2年度に引き続き、令和3年度もコロナ禍における運営となった中、感染防止対策を実施しながら、各種講座や教室等の事業を再開し、安全・安心な施設運営に努めたことは評価できる。一方、目標値に対し、吉祥寺図書館のみが目標を達成できていない状況が続いているため、モニタリング調査の結果を分析し、満足度向上に向けた取組みを進めていただきたい。							
財務	② 指標名	基本財産運用益・（講座・教室等）事業収益・業務委託収益の合計			目標値	参加料収入等 21,200千円 (16,600千円) ※カッコ内は講座・教室等の事業収益のみの数値	実績値	18,785千円 (10,968千円)
	過去の実績	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成率	88.6%	達成状況	未達成
	(単位: 千円)	42,758千円 (31,120千円)	37,381千円 (25,764千円)	10,584千円 (3,623千円)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市新型コロナウイルス感染症対策本部会議等の決定事項等に基づき、回数減、時間減をしつつも必要な事業は、感染防止対策をとり開催した。 ・コロナ禍での参加者数の制限等により自己負担比率の低下が見込まれる。参加者への付加サービス（消毒等）も増えるため、過度な負担増とならない範囲での参加料を見直した。 ・新型コロナウイルス感染症対策本部会議の決定等により、可能な範囲で事業参加人数（定員）を増やした。 ・広告料収入を継続して得た。 ・基本財産の運用は、安全で確実かつ有利な方法で継続して行った。 						
	一次評価	事業の開催については人数制限が続く中、定員を超えた応募者にもオンラインや感染対策を増設するなどして増員できるような工夫をしながら実施できた。指標以外の収入では広告収入、グッズの販売、各種助成金や補助金を最大限利用するなどして収入増を図った。						
二次評価	新型コロナウイルス感染症による影響が続く中、感染症対策を講じながら、様々な工夫をしながら事業運営してきたことは評価できる。引き続き、コロナの状況を踏まえながら、安全・安心な施設運営に努めるとともに、積極的な情報発信を行いながら、より多くの方に施設を利用してもらえよう、事業収益の確保に向けた取組みを進めていただきたい。							
内部	③ 指標名	(公財) 武蔵野文化事業団との合併準備			目標値	合併認可(東京都)受付システム・ホームページの構築	実績値	(都による変更認定)
	過去の実績	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成率	100.0%	達成状況	達成
	(単位:)	-	-	統合に係る具体的項目についての整理・調整の実施				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・両事業団の職員で構成される合併準備会に、「総務・管理」「例規・要綱」「広報」「情報基盤・施設予約システム」「人事管理システム」「経理」の6部会を設置し、検討を進めた。 ・東京都と連絡を密にとり、必要な書類提出等を確実にいった。 ・進捗状況について、適宜、市及び教育委員会に報告し、調整、協議を行った。 						
	一次評価	東京都からの認定を済ませ、その後も各部会が、旧両事業団の各部・課との調整を進め、令和4年4月1日にスタートができた。ホームページはリニューアルし、多数の施設利用や開催事業が見やすくなった。施設の貸出業務では他館の予約も可能とし利用者の利便性向上につながるシステムになった。						
二次評価	両事業団の職員が密に連携をとり、合併に向けた準備を進め、予定通り東京都からの変更認定を受け、令和4年4月1日より(公財)武蔵野文化生涯学習事業団としてスタートできたことを評価する。また、ホームページ等をリニューアルし、合併により施設数や事業数が増えた中においても、利用者が利用しやすい環境づくりに努めたことを評価する。今後は、合併によるメリットを生かした事業展開に期待したい。							